陳　情　文　書　表　（平成２７年９月２日定例会提出）

陳情第２５号

１４回目の地球社会建設決議陳情書

平成２７年８月６日受理

陳情者　●●●●●●●●●●●●●
荒　木　　實

人類の戦争放棄宣言

地球社会建設決議草案（戦争のない世界実現への基本原則）

１）　全ての人間が、地球で共同生活をしている地球市民である。地球市民は、地球のとうとさ、人間の尊厳のとうとさ、地球世界の美しさ、人間の美しさを知る者である。

２）　地球社会の安全と繁栄に努力することが、地球市民の基本的義務であり、責任である。

３）　地球社会の目的・目標は、全ての人間の人生を守ることにある。そのため、教育・雇用・生活を保障する社会技術の開発に努めねばならない。この規定は、人類の戦争放棄を意味し、国家の戦争行為、戦争準備行為の権利がないことを宣言するものである。地球市民を暴力から守る「守り人の組織」は、地球社会で一元化されるものである。

４）　人道・人権は地球社会の基本法である。独裁はいかなる形態でも許されない。地球社会は、民主主義が機能する社会格で構築されるものである。行き過ぎた生存競争は、人間の醜悪な心を導き出し、強大な力を求めさせ、この基本法に反することになることを知らねばならない。

５）　陸・海・空の空間、石油他の資源、先人の遺産は、現存する地球市民全員の共有である。地球市民の生活空間は、貸借関係保障によるものであり、多大な占有はあり得ない。地球社会で領土問題はあり得ない。

６）　考えることさえできない時間、そして考えられない偶然の積み重ねで、生命が守られる地球環境がある。この地球環境の保全こそ、全てに優先されるべきである。

沖縄の方々。戦争に反対の方々。なぜ、この決議をして、この決議を、日米政府、中国政府、世界に突きつけようとしないのでしょうか。

私は、広島市長選で、沖縄の軍事基地撤廃は、核廃絶と一体である、と主張しました。沖縄の方々が、地球社会建設決議を行い、「地球を守ることを第一義とする地球市民の立場を確立」すれば、日米政府、他に、核廃絶そして、沖縄の軍事基地撤廃を、正当な根拠と立場で、要請ではなく、命じることができるのです。沖縄の方々だけではありません。人々は、地球の危機がわからず国益を優先させている愚かな人間たちに、自分たちの生命を握られている状態を、なぜ、容認しているのでしょうか。軍備に狂奔している国家権力者たち、他人から搾取し使えない金をふやしている愚か者たち、狂信者たちに自分の命を委ねているのは、なぜでしょうか。なぜ、自分たちを、自分たちの力で、努力で、行動で守ろうとしないのですか。